

東京航空局工事調達総合評価落札方式に係る 基本方針

東京航空局の工事調達における総合評価落札方式の適用にあたっては、下記のとおり実施することを基本とする。

なお、令和3年10月1日以降に入札手続きを開始する工事から適用する。

記

1. 対象工事

- 1千万円を超える全ての工事
別紙「タイプ選定フロー」によりタイプを選定
※技術提案評価型（A型・S型）又は施工能力評価型（I・II型）

2. 総合評価落札方式のタイプ及び評価基準と配点

① 技術提案評価型（最高加算点40点）（注1：最高加算点41点）

A型：構造上の工夫や特殊な施工方法等を含む高度な技術提案を求めることにより民間企業の優れた技術力を活用し、公共工事の品質をより高めることを期待する場合に適用
実施する必要がある場合、評価基準と配点については別途調整する。

S型：・「品質向上」の観点から、技術的工夫の余地が大きい工事を対象に、発注者が示す仕様に対し特定の技術的課題等に関して施工上の工夫等の技術提案を求めて評価する。

・「技術的工夫の余地」については発注者により技術的判断を行う。

- ・技術提案 「20点」
- ・企業の施工能力 「10点」（注1：11点）
- ・配置予定技術者の能力 「10点」

② 施工能力評価型（最高加算点20点）（注1：最高加算点21点）

「品質確保」の観点から、技術的工夫の余地が小さな工事を対象に、発注者が示す仕様に基づき適切で確実な施工を行う能力を確認する場合に適用
難易度に応じて施工計画を求めるI型と求めないII型がある。

I型：施工計画（参加資格要件） 「可・否の評価」
企業の施工能力 「10点」（注1：11点）
配置予定技術者の能力 「10点」

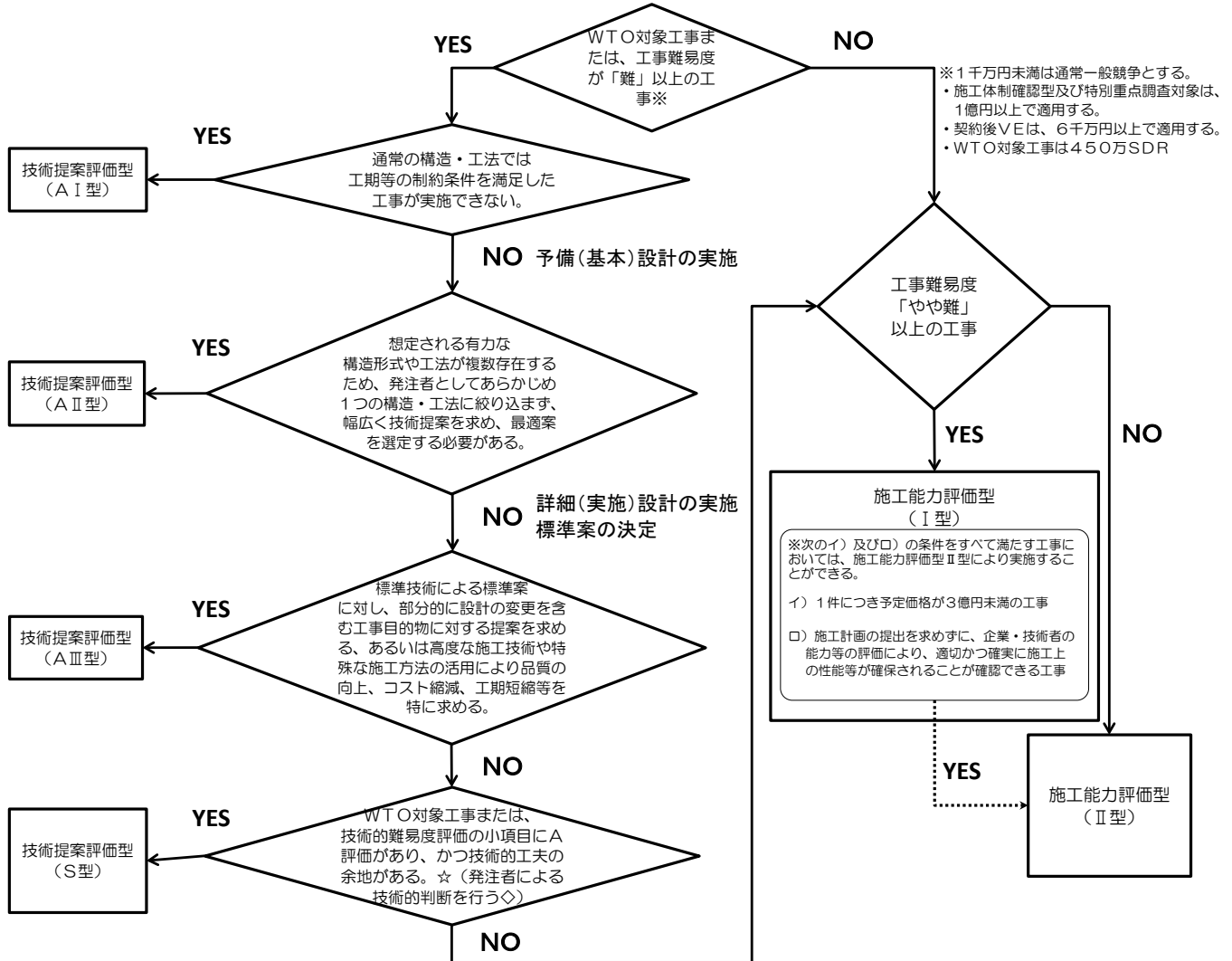
II型：施工計画（求めない）
企業の施工能力 「10点」（注1：11点）
配置予定技術者の能力 「10点」

【備考】注1：「空港土木施設におけるICTの活用対象工事」について、ICTの活用計画がある場合に、企業の施工能力に1点を追加し評価を行う。

「航空局建築工事等における生産性向上技術の活用（試行）工事について、取組みがある場合に、企業の施工能力に1点を追加し評価を行う。

総合評価落札方式 タイプ選定フロー

総合評価落札方式のタイプは、本フロー図により選定する。
 なお、フロー結果以外のタイプにて実施する場合若しくは技術提案評価型A型を実施する必要がある場合は別途調整する。



工事の技術的難易度 (出典：航空局工事技術的難易度評価実施要領)

| 事業 分類 | 工事区分 | 工 事 難 易 度 | | | |
|------------|--|-----------|-----|---|-----|
| | | 易 | やや難 | 難 | 特に難 |
| 土木 | 空港用地造成(土工、法面工、排水工(カルバート工含む)、緑地工、擁壁工、柵工、ケーブルダクト工、共同溝)、道路・駐車場舗装(セメントコンクリート舗装、アスファルト舗装、ブロック舗装)、道路付属施設、カルバート工(道路)、擁壁工(道路)、道路排水工、公園、土木維持修繕、除雪、その他(緩衝緑地) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 空港舗装(セメントコンクリート舗装、グレーピング工、舗装取壊)、ケーブルダクト工、その他(地盤改良工)、橋梁上部(鋼橋、床版工(鋼橋))、橋梁下部(鋼製橋脚・橋台)、道路共同溝(推進工法、開削工法) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 道路共同溝(シールド工法) | 易 | やや難 | 難 | |
| 建築 | 1. 簡易(倉庫、車庫) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 2. 一般(庁舎、研修所、局舎等) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 3. 特殊(美術館・研究施設等) | 易 | やや難 | 難 | 特に難 |
| 環境 整備 | 機器設置工事、緩衝緑地帯土木工事、場外地排水工事、場外地防護柵工事 | 易 | やや難 | 難 | |
| 航空灯 火施設 | 航空灯火及び電気施設工事 | 易 | やや難 | 難 | |
| 無線 | 1. 簡易(A/G, ATIS, AEIS, NDB等、機器の関連する付帯工事) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 2. 一般(管制塔(3種)、VOR/DME) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 3. 特殊(管制塔(2種以上)、ILS) | 易 | やや難 | 難 | |
| | 3. 特殊(レーダー施設) | 易 | やや難 | 難 | |

| (工事難易度が「難」以上の場合) | |
|-------------------------|-----|
| ☆大項目に含む「A評価の小項目」の有無 | |
| 1. 構造物条件 (設備/汎用種別条件) | 有・無 |
| 2. 技術特性 (作業条件) | 有・無 |
| 3. 自然条件 (運用/汎用複合条件) | 有・無 |
| 4. 社会条件 | 有・無 |
| 5. マネジメント特性 | 有・無 |

| ◇発注者における技術的判断 | |
|----------------------------------|----|
| 品質向上の観点から、技術的工夫の余地について検討する。 | |
| ①施工上の技術的課題があり技術提案を求めて評価する。 | S型 |
| ②発注仕様書、図面等により規定されている内容に工夫の余地はない。 | I型 |

注) 技術提案を求めて評価する必要がある場合には、工事の特質、技術提案の設定理由、提案の評価基準等をVE審査委員会において審議する。

| No | 契約件名 | 概算額(千円) | 工事難易度 | 適用タイプ |
|----|------------|---------|-------|----------|
| 例 | ●●●空港●●●工事 | | やや難 | 施工能力評価Ⅰ型 |